

**年間指導計画作成のための留意点（東京都教育委員会発行『人権教育プログラム（学校教育編）』人権教育の年間指導計画（例）を必ず参照の上作成すること）**

- 教科等の目標や内容を踏まえ、その単元や題材全体に関わる人権教育の視点を明確にした上で、指導計画に位置付ける。
- 普遍的な視点からの取組と個別的な視点からの取組を指導計画に位置付ける。
- 各教科、特別の教科 道徳、総合的な学習の時間、特別活動等における内容について、個別的な視点からの取組を中心に関連を明確にする。
- 児童・生徒が主体的に学習活動に参加し、協力し合って学習に取組めるよう、協力的、参加的、体験的な学習を位置付ける。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
学級経営	人権教育にかかわる学級目標を設定する。	自他の大切さを認め、児童相互の望ましい人間関係を築き、児童の学校生活への適応を図る。		言語環境を整え、教育環境の整備を図る。		一人一人が個性や能力を発揮して活躍できる場や機会を設定し、学級の一人として認められている存在感や安心感をもつことができるようにする。			この1年間での自他のよさの伸びや高まりを実現できるようにする。				
各教科・読書科	体育「体ほぐしの運動」 友達と運動を通して関わることで、友達の様々な良さを見つける。	生活「きれいにさいてね」 アサガオの栽培を通して、自然に親しむ態度を育む。		生活「生き物と仲よし」 小さな生き物を育てる活動を通して、自然に親しむ態度を育む。		国語「働く自動車」 生活に役立つ自動車には、様々な工夫や人々の願いがこめられていることを知る。		生活「楽しい秋 いっぱい」 落ち葉や木の実を使った遊びを通して、自然に親しむ態度を育む。		生活「冬を楽しもう」 寒風や氷、霜柱などで遊ぶ活動を通して、自然と親しむ心情を育む。			
特別の教科 道徳						「おじいちゃん大好き」 祖父母を敬愛し、家族の一員として役割を果たそうとする。「高齢者」		「ねずみくんのきもち」 相手の気持ちを考えることの大切さを考える。			「みんながえがおに」 言葉によって、相手が喜んだり、傷ついたりすることに気付く。	「せかいのあいさつ」 世界の様々なあいさつを知り、外国の人々と仲よくする気持ちをもつ。「外国人」	
総合的な学習の時間	/												
特別活動	係や当番の仕事を通して、クラスや友達の役に立っていることを認め合う。	運動会 演技や競技に全力を尽くす。						展覧会 発達段階による表現力の違いを理解し、そのそれぞれのよさに気づく。			6年生を送る会 お世話になった6年生に感謝を伝える。		
	きょうだい学級活動や異学年交流を深め、仲良くなり、お互いを認め合う。						○班編成		○全校オリエンテーリング		○きょうだい学級遊び		○遊び集会
その他	省エネ対策クーラー28℃設定 地球環境を守る意識を高める。					省エネ対策ストーブ20℃設定 地球環境を守る意識を高める。							

「 」=個別的な視点からの取組（末尾の「 」内は人権課題）  
 ←→ =関連的な指導  
 ≡ =「多様性と調和」の実現を目指し、互いに尊重し合う態度を育成すること。

年間指導計画作成のための留意点（東京都教育委員会発行『「人権教育プログラム（学校教育編）」人権教育の年間指導計画（例）」を必ず参照の上作成すること）

- 教科等の目標や内容を踏まえ、その単元や題材全体に関わる人権教育の視点を明確にした上で、指導計画に位置付ける。
- 普遍的な視点からの取組と個別的な視点からの取組を指導計画に位置付ける。
- 各教科、特別の教科 道徳、総合的な学習の時間、特別活動等における内容について、個別的な視点からの取組を中心に関連を明確にする。
- 児童・生徒が主体的に学習活動に参加し、協力し合って学習に取組めるよう、協力的、参加的、体験的な学習を位置付ける。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学級経営	人権教育にかかわる学級目標を設定する。	自他の大切さを認め、児童相互の望ましい人間関係を築き、児童の学校生活への適応を図る。			一人一人が個性や能力を発揮して活躍できる場や機会を設定し、学級の一員として認められている存在感や安心感をもつことができるようにする。			この1年間での自他のよさの伸びや高まりを実感できるようにする。				
各教科・読書科	体育「体ほぐしの運動」 友達と運動を通して関わることで、友達の様々な良さを見つける。 生活「大きなあれ わたしの野菜」 野菜の栽培を通して、生命を尊重する気持ちを高める。	言語環境を整え、教育環境の整備を図る。			生活「生きもの なかよし大作せん」 小さな生き物を育てる活動を通して、生命を尊重する気持ちを高める。	生活「みんなで使う街のしせつ」 人々の生活を豊かにするために、様々な公共施設があることを知る。			音楽「クリスマスソングを唱おう」 クリスマスは、様々な国で祝われていることを知る。「外国人」	国語「昔の遊び」 昔の遊びを通して、高齢者とふれ合い機会を設ける。「高齢者」		
特別の教科 道徳	「春がいっぱい」 春、たくさんの生き物を見つけ、生命を尊重する気持ちを高める。	「たつくんも いっしょに」 誰でも仲よく過ごせることの大切さを知る。			「電車の中で」 妊婦さんなど、弱い立場の人にやさしくしようとする気持ちを高める。			「日本の宝 富士山」 どの国にもほこるものがあることを理解する。				
総合的な学習の時間	/											
特別活動	係や当番の仕事を通して、クラスや友達の役に立っていることを認め合う。	運動会 演技や競技に全力を尽くす。	きょうだい学級活動や異学年交流を深め、仲良くなり、お互いを認め合う。			展覧会 発達段階による表現力の違いを理解し、そのそれぞれのよさに気づく。			6年生を送る会 お世話になった6年生に感謝を伝える。			
その他	省エネ対策クーラー28℃設定 地球環境を守る意識を高める。						省エネ対策ストーブ20℃設定 地球環境を守る意識を高める。					

「 」=個別的な視点からの取組（末尾の「 」内は人権課題） ↔ =関連的な指導   =「多様性と調和」の実現を目指し、互いに尊重し合う態度を育成すること。

年間指導計画作成のための留意点（東京都教育委員会発行『「人権教育プログラム（学校教育編）」人権教育の年間指導計画（例）」を必ず参照の上作成すること）

- 教科等の目標や内容を踏まえ、その単元や題材全体に関わる人権教育の視点を明確にした上で、指導計画に位置付ける。
- 普遍的な視点からの取組と個別的な視点からの取組を指導計画に位置付ける。
- 各教科、特別の教科 道徳、総合的な学習の時間、特別活動等における内容について、個別的な視点からの取組を中心に関連を明確にする。
- 児童・生徒が主体的に学習活動に参加し、協力し合って学習に取り組めるよう、協力的、参加的、体験的な学習を位置付ける。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
学級経営	人権教育にかかわる学級目標を設定する。	自他の大切さを認め、児童相互の望ましい人間関係を築き、児童の学校生活への適応を図る。				一人一人が個性や能力を発揮して活躍できる場や機会を設定し、学級の一員として認められている存在感や安心感をもつことができるようにする。				この1年間で自他のよさの伸びや高まりを実感できるようにする。			
各教科・読書科	体育「体ほぐしの運動」 友達と運動を通して関わることで、友達の良いところを見つめる。	社会「農家の仕事／工場の仕事」 他人の役に立つために、様々な仕事があることを知る。		体育「健康な生活」 健康であることが、充実した生活を送る基本であることを実感する。		国語「ローマ字」 どの国の人にも読める表現の仕方があることを知る。	社会「家事から暮らしを守る」 公共事業や環境保全に尽くしている人がいることを知る。		外国語活動「Who are you?」 世界には様々な人がいることを知る。				
特別の教科 道徳						「わたしのみたニッポン」 外国の人から見た日本文化を通して、お互いの文化を尊重し合う気持ちをもつ。「外国人」	「悪いのはわたしじゃない」 相手の立場に立ったり、客観的に自分を見たりし、自身の行為がいじめになっていないか考える。		「いつかオーストラリアへ」 お互いの国のよさを理解し合い、尊重する意識を高める。「外国人」				
総合的な学習の時間	【進め！えどがわ調査隊（過去から現在へ）】 自分と地域のかかわりや、環境の保全を考えて生活することができる。					【進め！えどがわ調査隊（現在から未来へ）】 自分と地域のかかわりや、環境の保全を考えて生活することができる。							
特別活動	係や当番の仕事を通して、クラスや友達の役に立っていることを認め合う。	運動会 演技や競技に全力を尽くすだけでなく、仲間や他学年を応援する。						展覧会 発達段階による表現力の違いを理解し、そのそれぞれのよさに気づく。		6年生を送る会 お世話になった6年生に感謝を伝える。			
	きょうだい学級活動や異学年交流を深め、仲良くなり、お互いを認め合う。						○班編成		○全校オリエンテーリング		○きょうだい学級遊び		○遊び集会
その他	省エネ対策クーラー28℃設定 地球環境を守る意識を高める。					省エネ対策ストーブ20℃設定 地球環境を守る意識を高める。							

「 」＝個別的な視点からの取組（末尾の「 」内は人権課題）  
 ⇄＝関連的な指導  
 ≡＝「多様性と調和」の実現を目指し、互いに尊重し合う態度を育成すること。

**年間指導計画作成のための留意点（東京都教育委員会発行『「人権教育プログラム（学校教育編）」人権教育の年間指導計画（例）」を必ず参照の上作成すること）**

- 教科等の目標や内容を踏まえ、その単元や題材全体に関わる人権教育の視点を明確にした上で、指導計画に位置付ける。
- 普遍的な視点からの取組と個別的な視点からの取組を指導計画に位置付ける。
- 各教科、特別の教科 道徳、総合的な学習の時間、特別活動等における内容について、個別的な視点からの取組を中心に関連を明確にする。
- 児童・生徒が主体的に学習活動に参加し、協力し合って学習に取組めるよう、協力的、参加的、体験的な学習を位置付ける。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学級経営	人権教育にかかわる学級目標を設定する。	自他の大切さを認め、児童相互の望ましい人間関係を築き、児童の学校生活への適応を図る。				一人一人が個性や能力を発揮して活躍できる場や機会を設定し、学級の一員として認められている存在感や安心感をもつことができるようにする。					この1年間での自他のよさの伸びや高まりを実感できるようにする。	
各教科・読書科	体育「体ほぐしの運動」 友達と運動を通して関わることで、友達の様々な良さを見つける。 外国語活動「Hello, world!」 世界には様々な人がいることを知る。		社会「水はどこから」「ゴミの処理と利用」 公共事業や環境保全に尽くしている人がいることを知る。			体育「体の成長とわたし」 体の成長の時期がそれぞれであることから、人には個性があることを知る。				読書科「世界の名作を読もう」 時間や空間を超えて親しまれている作品があることを知る。	社会「世界とつながるわたしたちの県」 産業や経済で結び付き、お互いに助け合って暮らしていることを知る。	
特別の教科 道徳	「心と心のあくしゆ」 座席を譲った人の行動から、弱い立場の人との接し方を知る。「高齢者」		「ほっとけないよ」「プロレスごっこ」 いじめの状況では、傍観者も加害者だという意識をもつことの大切さを知る。 「守りたい自分の情報」 軽い気持ちでしたことで、自身が危険にさらされることを知る。「インターネットによる人権侵害」			「かわいくない」 SNSを通して、相手を傷つけてしまうことがあることを知る。「インターネットによる人権侵害」		「仲間だから」 いじめで苦しんでいる中、力になってくれる友達がいることを知る。			「世界の子どもたちのために」 世界には様々な人がいること、お互いに助け合うことが大切なことを知る。「外国人」	
総合的な学習の時間	【かぜのこ学級との交流】 特別支援学級の児童との交流を通して、一人一人の違いを認め、良さを見付けようとする心情を育てる。											
特別活動	係や当番の仕事を通して、クラスや友達の役に立っていることを認め合う。	運動会 演技や競技に全力を尽くすだけでなく、係活動で集団に貢献する。						展覧会 発達段階による表現力の違いを理解し、そのそれぞれのよさに気づく。				6年生を送る会 お世話になった6年生に感謝を伝える。
	きょうだい学級活動や異学年交流を深め、仲良くなり、お互いを認め合う。						○班編成	○全校オリエンテーリング		○きょうだい学級遊び	○遊び集会	
その他			省エネ対策クーラー28℃設定 地球環境を守る意識を高める。							省エネ対策ストーブ20℃設定 地球環境を守る意識を高める。		

「 」=個別的な視点からの取組（末尾の「 」内は人権課題） ↔ =関連的な指導   =「多様性と調和」の実現を目指し、互いに尊重し合う態度を育成すること。

年間指導計画作成のための留意点（東京都教育委員会発行『「人権教育プログラム（学校教育編）」人権教育の年間指導計画（例）」を必ず参照の上作成すること）

- 教科等の目標や内容を踏まえ、その単元や題材全体に関わる人権教育の視点を明確にした上で、指導計画に位置付ける。
- 普遍的な視点からの取組と個別的な視点からの取組を指導計画に位置付ける。
- 各教科、特別の教科 道徳、総合的な学習の時間、特別活動等における内容について、個別的な視点からの取組を中心に関連を明確にする。
- 児童・生徒が主体的に学習活動に参加し、協力し合って学習に取組めるよう、協力的、参加的、体験的な学習を位置付ける。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学級経営	人権教育にかかわる学級目標を設定する。	自他の大切さを認め、児童相互の望ましい人間関係を築き、児童の学校生活への適応を図る。 言語環境を整え、教育環境の整備を図る。					一人一人が個性や能力を発揮して活躍できる場や機会を設定し、学級の一員として認められている存在感や安心感をもつことができるようにする。			この1年間での自他のよさの伸びや高まりを実感できるようにする。		
各教科・読書科	体育「体ほぐしの運動」 友達と運動を通して関わることで、友達の様々な良さを見つける。 社会「世界中の国土」 世界地図から、日本と様々な国とのつながりを知る。		理科「ヒトの誕生」 ヒトの誕生を通して、他人と自分の違いを実感する。							外国語「Welcome to Japan.」 おもてなしの心で、外国からのお客様を迎える意識をもつ。「外国人」		
特別の教科 道徳			「知らない間のできごと」 SNSを通して、相手を傷つけてしまうことがあることを知る。「インターネットによる人権侵害」 「ほのほのテスト」 座席を譲った人の行動から、弱い立場の人との接し方を知る。「高齢者」					「だれかを傷つける機械ではない」 SNSを通して、相手を傷つけてしまうことがあることを知る。「インターネットによる人権侵害。いじめ」			「花に思いをこめて（星野富弘）」 事故などで障害を負った後も前向きに生きる人の生き様を感じる。「障害者」	
総合的な学習の時間	【米博士になろう】【新潟博士になろう】 稲作りや雪国のくらしを通して人々の願いや努力を知る。								【充実したウィンタースクールにしよう】 異なる意見や他者の考えがあることを認め、尊重することができる。			
特別活動	係や当番の仕事を通して、学校や友達の役に立っていることを認め合う。	運動会 演技や競技に全力を尽くすだけでなく、係活動で集団に貢献する。				学習発表会 発達段階による表現力の違いを理解し、それぞれのよさに気づく。					卒業関係行事 最上級生になる自覚を高める。	
	きょうだい学級活動や異学年交流を深め、仲良くなり、お互いを認め合う。 ○班編成 ○全校オリエンテーリング ○きょうだい学級遊び ○遊び集会											
その他			省エネ対策クーラー28℃設定 地球環境を守る意識を高める。							省エネ対策ストーブ20℃設定 地球環境を守る意識を高める。		

「 」=個別的な視点からの取組（末尾の「 」内は人権課題） ↔ =関連的な指導   =「多様性と調和」の実現を目指し、互いに尊重し合う態度を育成すること。

**年間指導計画作成のための留意点（東京都教育委員会発行『「人権教育プログラム（学校教育編）」人権教育の年間指導計画（例）」を必ず参照の上作成すること）**

- 教科等の目標や内容を踏まえ、その単元や題材全体に関わる人権教育の視点を明確にした上で、指導計画に位置付ける。
- 普遍的な視点からの取組と個別的な視点からの取組を指導計画に位置付ける。
- 各教科、特別の教科 道徳、総合的な学習の時間、特別活動等における内容について、個別的な視点からの取組を中心に関連を明確にする。
- 児童・生徒が主体的に学習活動に参加し、協力し合って学習に取組めるよう、協力的、参加的、体験的な学習を位置付ける。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学級経営	人権教育にかかわる学級目標を設定する。	自他の大切さを認め、児童相互の望ましい人間関係を築き、児童の学校生活への適応を図る。		言語環境を整え、教育環境の整備を図る。		一人一人が個性や能力を発揮して活躍できる場や機会を設定し、学級の一員として認められている存在感や安心感をもつことができるようにする。			この1年間での自他のよさの伸びや高まりを実感できるようにする。			
各教科・読書科	国語「言葉で伝え合おう」前に話す人の内容を受けて、聞き手を考えて話す。 社会「わたしたちのくらしと日本国憲法」基本的な人権が憲法で認められていることを知る。	体育「体ほぐしの運動」友達と運動を通してかかわることで、友達の様々な良さを見つける。	理科「わたしたちの地球」生物と地球環境の関係性を調べ、生命尊重の意識を高める。	外国語「We all live on the Earth.」世界の様々な国について知り、互いに尊重し、よりよい世界をつくらうとする。「外国人」	国語「哲学対話をしよう」相手を尊重しながら、自分の考えを深める。	体育「病気の予防」様々な感染症があることを知る。「HIV感染者」	読書科「わたしの大切な一冊」相手の考えを尊重しながら、自身の大切な一冊を紹介する。	社会「徳川家光と江戸幕府」アイヌの歴史について学び、アイヌの人々が差別を受けた背景を知る。「アイヌの人々」	社会「新しい日本、平和な日本へ」戦後、それまでなかった女性の参政権が認められたことを知る。「女性」			
特別の教科 道徳	「人生を変えるのは自分（桑 由加子）」パラリンピアンの前向きな姿勢を知り、お互いに尊重し合う意識を高める。「障害者」	「父の言葉（黒柳徹子）」体が不自由な人に対してどのように接したらよいか考える。「障害者」	「情報について考えよう」SNSを通して、相手を傷つけてしまうことがあることを知る。「インターネットによる人権侵害」		「ひきょうだよ」いじめの状況では、傍観者も加害者だという意識をもつことの大切さを知る。							
総合的な学習の時間	【充実した移動教室にしよう】異なる意見や他者の考えがあることを認め、尊重することができる。		【国際人になろう】異なる意見や他者の考えがあることを認め、尊重することができる。									
特別活動	係や当番の仕事を通して、学校や友達の役に立っていることを認め合う。	運動会 演技や競技に全力を尽くすだけでなく、係活動で集団に貢献する。	学習発表会 発達段階による表現力の違いを理解し、それぞれのよさに気づく。		【感謝の気持ちを表そう】6年間を振り返り、自身の成長を自覚するとともに、お世話になった方に感謝の気持ちを表す。		卒業関係行事 6年間を振り返り、感謝の気持ちをもつ。					
その他	省エネ対策クーラー28℃設定 地球環境を守る意識を高める。					省エネ対策ストーブ20℃設定 地球環境を守る意識を高める。						

「 」=個別的な視点からの取組（末尾の「 」内は人権課題） ↔ =関連的な指導   =「多様性と調和」の実現を目指し、互いに尊重し合う態度を育成すること。

**年間指導計画作成のための留意点（東京都教育委員会発行『「人権教育プログラム（学校教育編）」人権教育の年間指導計画（例）」を必ず参照の上作成すること）**

- 教科等の目標や内容を踏まえ、その単元や題材全体に関わる人権教育の視点を明確にした上で、指導計画に位置付ける。
- 普遍的な視点からの取組と個別的な視点からの取組を指導計画に位置付ける。
- 各教科、特別の教科 道徳、総合的な学習の時間、特別活動等における内容について、個別的な視点からの取組を中心に関連を明確にする。
- 児童・生徒が主体的に学習活動に参加し、協力し合って学習に取組めるよう、協力的、参加的、体験的な学習を位置付ける。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学級経営	人権教育にかかわる学級目標を設定する。	自他の大きさを認め、児童相互の望ましい人間関係を築き、児童の学校生活への適応を図る。		言語環境を整え、教育環境の整備を図る。		一人一人が個性や能力を発揮して活躍できる場や機会を設定し、学級の一員として認められている存在感や安心感をもつことができるようにする。			この1年間で自他のよさの伸びや高まりを実感できるようにする。			
各教科・読書科	国語「言葉で伝え合おう」前に話す人の内容を受けて、聞き手を考えて話す。 社会「わたしたちのくらしと日本国憲法」基本的な人権が憲法で認められていることを知る。	体育「体ほぐしの運動」友達と運動を通してかかわることで、友達の様々な良さを見つける。	理科「わたしたちの地球」生物と地球環境の関係性を調べ、生命尊重の意識を高める。			国語「哲学対話をしよう」相手を尊重しながら、自分の考えを深める。 社会「徳川家光と江戸幕府」アイヌの歴史について学び、アイヌの人々が差別を受けた背景を知る。「アイヌの人々」				読書科「わたしの大切な一冊」相手の考えを尊重しながら、自身の大切な一冊を紹介する。 社会「新しい日本、平和な日本へ」戦後、それまでなかった女性の参政权が認められたことを知る。「女性」		
特別の教科 道徳	「人生を変えるのは自分（桑 由加子）」パラリンピアンの前向きな姿勢を知り、お互いに尊重し合う意識を高める。「障害者」	「父の言葉（黒柳徹子）」体が不自由な人に対してどのように接したらよいか考える。「障害者」				「情報について考えよう」SNSを通して、相手を傷つけてしまうことがあることを知る。「インターネットによる人権侵害」 「ひきょうだよ」いじめの状況では、傍観者も加害者だという意識をもつことの大切さを知る。						
総合的な学習の時間	自然・命の尊さ（植物栽培）	社会との関わり（宿泊学習、遠足、買い物等）				自然・命の尊さ（植物栽培）						
特別活動	係や当番の仕事を通して、クラスや友達の役に立っていることを認め合う。	運動会 それぞれの発達段階に応じて、役割を果たすことの大切さを知る。							展覧会 それぞれの発達段階に応じて、役割を果たすことの大切さを知る。		6年生を送る会、卒業を祝う会 卒業に際し、お世話になった方々に感謝の気持ちをもつ。	
その他	きょうだい学級活動や異学年交流を深め、仲良くなり、お互いを認め合う。 ○班編成 ○全校オリエンテーリング ○きょうだい学級遊び ○遊び集会											
	交流活動 ポッチャ、給食などで4年生を中心に、互いを理解し、ともに生きていく社会の構築を目指す意識を高める。											

「 」=個別的な視点からの取組（末尾の「 」内は人権課題） ↔ =関連的な指導   =「多様性と調和」の実現を目指し、互いに尊重し合う態度を育成すること。